



# そうだんしつで遊んだよ

湯田幼稚園ことばの相談室

2020年(令和2年)10月15日

“秋の日はつるべ落とし”というように、日が短くなりましたね。また、暑い日もあれば肌寒い日も。行ったり来たりを繰り返しながら深まりゆく秋に向かうこの季節は、成長する子どもたちの足取りにも似ているような気がします。子どもたちは、先日の参観日(運動遊び)で大変盛り上がったリレーを再現して遊んだり、山登りで拾ってきたどんぐりを使ってどんぐりゴマをつくったりなど友だちとかかわりながら楽しく遊んでいます。

さて、昨日は、花組になって初めての「ことばの相談室であそぼう」がありました。「ことばの相談室」ならではの遊びを経験することで、心やことばが豊かに育ってほしいと願っています。今回は、3グループに分かれて遊びました。子どもたちは相談室で遊んだことを何かお話ししましたでしょうか。少し、遊びの様子をお知らせします。

ねらい：左右の違う動きをコントロールしながら調整力を高める。

## 手遊び「たいやきたこやき」



子どもが最初に出会うおもちゃは、自分の指だと言われています。手遊び「たいやきたこやき」は、パーに開いた手をたいやき、グーに結んだ手をたこやきに見立てます。曲に合わせ、その手を前後に出すだけの遊びですが、左手と右手が違う動きをすることで頭のなかがかんがらって・・・。「2番がむずかしい」と懸命に動きを調整していました。

♪ たいやきくんと  
たこやきさんが  
かけっこしたよ  
どっちがどっちが  
どっちがどっちが  
はいいかな ♪

## 口のたいそう

ねらい：滑らかに舌を動かしたり、やわらかい舌(ホットケーキの舌)の感覚をつかんだりする。

舌がしなやかに動く、平らな舌(ホットケーキの舌)になるように鏡をみながら真剣に練習しました。舌の動きは、意識することが少ないですが、舌の動きは発音するための大切な器官です。

ブドウの実を口に入れて実と皮に分けること、魚の骨を口の中で分け取り出すことも、舌の働きのひとつです。別紙に「お口のたいそう」のイラストを載せています。御一緒にチャレンジしてみてください。



## バランスゲーム

ねらい：つまむ、のせる、かけるなどの手先の巧緻性を高める。

ぐらぐら揺れるタワーや木に指先でつまんでそーっとのせたり、かけたりする遊びです。倒れないようにバランスを考えたり、親指と人差し指でつまんでそーっとのせたりと随分神経をつかっているのでしょうか思わず「のせるのが、むずかしい」「ドキドキするー」の声。うまくのと皆で「セーフ」と言いながら、遊びを楽しむグループもありました。お気に入りの遊びだったようです。

